

制作班①



オリジナルマグネットの制作

お店に来たお客さまに配布するグッズの制作を担当。グッズは漆仕様のマグネットにし、町で古くから大切にされてきた漆工芸「秀衡塗り」の雰囲気が伝わるようにしました。特徴ある表面の絵は生徒たちのオリジナルです。



かわいいイラストが描かれた「オリジナルマグネット」

制作班②



案内ホームページの制作

たくさんの人たちに平泉の良さを知ってもらうため、ホームページの制作を担当。歴史や観光スポットなど、これまで学んできた成果を十分に発揮し、パソコンを使って自分たちで作りました。

一つ③平泉アピール活動についてです。
平泉アピール活動に向けた事前準備を開始
 修学旅行で実施する平泉アピール活動の準備を開始したのは、平成28年3月1日。修学旅行の1カ月前から準備に取り組んでいました。
 まずは生徒一人一人に役割を分担させるため、5つの班に編成。学習班として、平泉の説明担当・紙芝居担当・折り鶴プロジェクト担当に分け、制作班としてはオリジナルマグネット制作担当・案内用ホームページ制作担当

当に分けました。班を分けることにより、各担当の責任感が増し、生徒たちは真剣な表情で作業に没頭していました。
 「平泉アピール活動を実施する場所は営業中のお店の中。お客さまの邪魔をしてお店に迷惑をかけないようにすること。相手の気持ちを考えて行動しなければいけません。本番は自分たちできちんと考えて行動すること」という教諭のアドバイスにより、生徒たちは当日の行動を頭の中で整理していました。
 発表する生徒たちが一番苦労していたのは、相手にきちんと伝わるようにセリフに感情を込

めて話すこと、台本を棒読みするのではなく抑揚をつけて発表することです。メンバー同士で何回も練習することで、少しずつ改善されていきました。
 制作班についても、見る人がわかりやすいものを作成するように心掛けていました。想いを込めて制作するその姿は笑みがこぼれていました。
 平泉の良さを東京の人たちに上手く伝えられるよう、一人でも多くの人の心に響くように、生徒たちの練習や準備は春休みに入ってからも続き、本番まで一生懸命取り組んでいました。

学習班③



「折り鶴プロジェクト」の準備

復興支援のための募金活動「折り鶴プロジェクト」を担当。日本語と英語に対応した募金活動をする予定でしたが、28年3月末でプロジェクトの廃止が決定したことに伴い、急きょ合唱隊に編成されることになりました。



写真：本番を想定したリハーサル

平成28年度平泉中学校 修学旅行の概要
 本年度の平泉中学校の修学旅行は、4月12日から14日の2泊3日の日程で実施されました。修学旅行には毎年、目的や目標があります。今年のねらいは「Be together as one」心をひとつに「(生徒会提案)であり、これには「みんなの心を一つにした活動をする」という意味が込められています。またその他のねらいとして、
 ① 普段とは違う環境の中、さまざまな体験や人との関わりを通し、学校生活からは身につけることのできない教養や見識を高め、将来の進路や生き方につなげる。
 ② 集団生活の中で、協力・責任・規律を守ることの意義を学び、最高学年としての団結力と力量を高める。
 ③ 総合的な学習の時間「平泉学」の学びを活用した実践活動として東京での平泉アピール活動を行い、郷土を愛する心を養う。
 ④ 楽しい共通の体験を通し、よき思い出を作り、学年の仲間としてさらにつながりを深める。があります。
 今回取材したのは、その中の

学習班②



「紙芝居」の準備

平泉のことを子どもにも大人にもわかりやすくした紙芝居「みんななかよしひらいずみ」を担当。セリフや絵をめくるタイミングなどをメンバーで確認し、本番に向けた予行演習を何度も繰り返しました。

学習班①



「平泉の歴史」を学習

平泉についての説明を担当。平泉の歴史とともに、平泉の魅力をお客さまに伝えます。準備段階では原稿を見ていたが、当日は見ないで発表するため、生徒たちは真剣な表情で文章を覚えていました。